

令和6年度



学校だより

け や き

発行

令和6年4月19日

No. 1

川崎市立南生田中学校

3つのお願い

校長 小松 隆之

今年の入学式・始業式は、天候はともかく桜の花に囲まれた式になりました。まるでみなさんの入学・始業を待っていてくれたかのように感じていました。保護者のみなさま、地域のみなさまにはますます清祥のこととお喜び申し上げます。

令和6年度、457名でスタートして2週間あまりが経ちました。生徒の皆さんは、新入生、新学年としての生活を軌道に乗せつつあることと思います。

年度初めの始業式と入学式の中で、私から3つのお願いをしたことをここに記しておきましょう。

1つ目、「心と身体の健康に心がけ、元気で楽しい学校生活を送ってほしい」ということ

2つ目、「自分を大切にすること。そして、それと同じくらい、まわりの人も大切にすること」ということ

3つ目、「学校生活での様々な体験を通して、夢や希望、目標を見つけてほしい」ということ

この3つのことを心にとめながら取り組んでいくことで、より良い学校生活をつくっていくことにつなげてほしいと思います。

また、2・3年生には、「今日の一針 明日の十針」という話をしました。今日やっておけば（取り組んでおけば）、一針縫えば済んだものを明日に回したばかりにはほころびが広がり、十針も縫うことに。私自身も後回しにして後悔したことが多々あります。特に学習面でしょうか。気を付けたいものです。

あいさつは心のかけ橋？

毎朝家を出て最寄り駅まで歩いていくのですが、運がいいと、散歩中のゴールデンレトリバーと会う機会に恵まれます。公園の横を歩いていると向こうからゴールデンが歩いてきます。目が合うといったんピタッと動きを止めて、次に飼い主の方を引きずるように走ってきてくれます。「おはよう、おじょう（女の子だそうです）」と声をかけるとぶんぶん尻尾を振ってくれます。頭をなでるとさらにぶんぶん尻尾を振ってくれます。私にとっては、ゴールデンと飼い主さんにあいさつができる大切なひとときです。

松下幸之助さんが、「誰が考え出したものでもない私たちの遠い祖先から伝わってきたこのあいさつというものは、いわばお互いの毎日のくらしの潤滑油とでもいった、尊いはたらきを果たしているのである。」という言葉を残しています。人は機械ではありませんが、ぶつかったりまさつを起こしたり。潤滑油はあちらこちらで必要としているようです。

南生田中学校に着任してまる2年が経ちました。駅の改札を抜け、階段を降りてバス停に向かう途中、あいさつをしてくれる高校生（卒業生）の数が増えました。とてもうれしいことだと思っています。

みなさんもあいさつの楽しさを味わってみてはいかがでしょうか。

5月予定表

1 (水) 部活動本入部開始	16 (木) 内科検診
耳鼻科検診	25 (土) 第48回体育祭
2 (木) 歯科検診 (1年)	27 (月) 代休
9 (木) 修学旅行 (~5/11)	28 (火) 眼科検診
9 (木) 歯科検診 (2年)	30 (金) 新体力テスト・身体測定

